

平成30年3月22日

保護者各位  
関係者各位

文京区立本郷小学校  
校長 細田 真司

## 平成29年度 文京区立本郷小学校 学校評価のまとめ

日頃より学校の教育活動に御理解・御協力いただきまして、誠にありがとうございます。  
今年度も御協力いただきました学校評価の結果をまとめましたので、お知らせいたします。  
今年度は、保護者の皆様からの御提出が、昨年度比13.9%増加しました。評価結果をもとに、来年度の教育活動を充実させていきたいと考えております。今後とも、御理解・御協力の程、よろしくお願い申し上げます。

### 1 学校評価のねらい

児童の成長及びそのための取り組みについて評価を行い、学校運営の改善を図り、児童がよりよい学校生活を送ることができるようにする。

### 2 学校評価の方法

- ① 項目を設定したアンケート方式により、A・B・C・D・(E)の4段階で評価する。
- ② 自由記述により評価する。

A…よくあてはまる  
B…ややあてはまる  
C…あまりあてまらない  
D…あてはまらない  
E…わからない・回答できない

### 3 学校評価の対象

|            |      |    |      |     |        |
|------------|------|----|------|-----|--------|
| ○ 教職員      | 22名  | 回答 | 22名  | 回収率 | 100.0% |
| ○ 児童       | 574名 | 回答 | 571名 | 回収率 | 99.0%  |
| ○ 保護者(家庭数) | 472名 | 回答 | 379名 | 回収率 | 80.3%  |

### 4 学校評価の時期

平成29年11月～12月

※個別の御意見や御相談、記述した方が特定できるような内容につきましては、掲載しておりません。また、同様の趣旨の御意見につきましては、まとめさせていただいております。

## 学校関係者評価について

教職員・保護者・児童による評価結果について、学校関係者評価委員会に提示し、協議をしていただいたところ、円滑に学校運営がなされていると評価をいただきました。

以下に、学校関係者評価委員会の概要を紹介します。

[日 時] 第1回 平成29年7月10日 第2回 平成29年12月13日 第3回 平成30年2月28日

[学校関係者評価委員会の構成] 学識経験者1名 青少年健全育成関係者1名 地域関係者2名  
近隣幼稚園長・中学校長 各1名

[学校関係者評価報告書より]

### 1 統括的意見

- 特別な支援を要する子供へのきめ細やかな配慮も含め、全児童の学習状況や生活状況の詳細な把握に基づく教育の内的事項に関する指導が的確になされている点、教職員の勤務時間の改善（NO残業デーを設定する等）、個人情報保護、学校内・外の教育環境整備といった学校運営の外的事項も確実に遂行されている点、さらに細田校長が着任以来、学校内外への情報発信機能強化に重点を置き、学校運営に関する情報発信を学校運営協議会の情報も含めて、保護者や地域に積極的に行うことや地域との連携の強化等、開かれた学校づくりに向け昨年度以上に成果を挙げている点も高く評価できる。
- 学校関係評価委員会は3回開催されており、前年度までの成果や課題、昨今の教育課程の変化を踏まえた重点課題が示された。新しい取組を設定した理由や学校経営方針・学校教育目標の実現のために進んでいる取組の進捗状況について詳細な説明があり、継続的に努力していることが十分伺われた。
- 管理職を含む教職員が教員間での取組の評価や児童や保護者の評価を踏まえ、問題を洗い出し改善策を立てるといった学校カリキュラム全体に主体的に関わる体制づくりも昨年度以上に推進している。学校教職員が一丸となり意欲的に学校経営に関わっている点も注目に値する。
- 今年度はコミュニティー・スクールの指定を受けて3年目となる。協議会や学校参観への参加が確実に増えており、委員が積極的に関与する体制づくりがなされている。次年度は学校支援地域本部も含め「チーム本郷」として、地域とより一層一体化した学校運営体制が確立してゆくことを期待している。

### 2 学力向上～深い学び～に関する取組

- 今年度導入を始めた「本郷学習スタンダード」は、教職員間での共通実践として定着化が図られており、これを踏まえた指導を展開している。特に若手の教員には重要な指導の指針となっており、「深い学び」を実現するための大きな前提として、児童と教員双方にとって意味ある取組となっているとみられる。本郷学習スタンダードは、児童が集中力をもって学習活動を行う上での必要最低なものに精選・限定されており、むしろ設定することで落ち着いて授業に取り組むことを可能にするものであるといえる。児童の実態を踏まえ、教職員間で随時の見直しは必要であろう。
- 授業研究では教科を限定せず、全教員が深い学びの実現に向けて取り組むことで、新学習指導要領で要請される「主体的・対話的で深い学び」の展開に向け、一層実践が深化してゆくことが期待される。

### 3 心身の健康に関する取組と豊かな心の育成に関する取組

- 体力向上に関する取組として、今年度は学校支援地域本部のボランティアの支援も受けつつ「朝遊び」を導入した。全校児童が体を動かす物的環境には必ずしも恵まれていない中で、工夫して児童が体を積極的に動かす時間、方法を創出していることは高く評価できる。児童と教職員、そして地域が一体となって児童の体力向上を推進する体制がとられていることとともに、豊かなコミュニケーションの場ともなっており、体のみならず、心の健康にとっても好ましい影響がある。今後も継続して取組を充実させてほしい。
- 読書指導の充実のために、学校図書館のみならず、地域の図書館や自宅での読書も利用したりする試み、これまで実践としての「量」から「質」を重視する体制への見直しが図られている。量と質、ともに追求する試みは従来の本郷小ではみられなかった視点であり、双方の推進を期待している。
- 前年度の児童の挨拶ができていない状況を課題として捉え、教師が朝から児童に挨拶指導をできる体制を整えた。挨拶は人間関係づくりの第一歩として徳育の面でも重要であり、引き続き、形式的ではなく、心のこもった挨拶指導を通して徳育にも繋げていただきたい。

### 4 安心・安全な学校に関する取組

- 前年度から積極的に保護者に情報発信する工夫を行ってきた。今年度はツイッターによるタイムリーで迅速な情報提供が図られており、アクセス数も極めて高いことから保護者からも好評価を得ていることがわかる。今後も継続してほしい。
- 校内環境としての安全点検の徹底、防災等子どもの危機の未然防止、早期対応といった「安心・安全第一」という方針にもとづく校長のリーダーシップが着実に発揮されている。

### 5 オリンピック・パラリンピック教育に関する取組

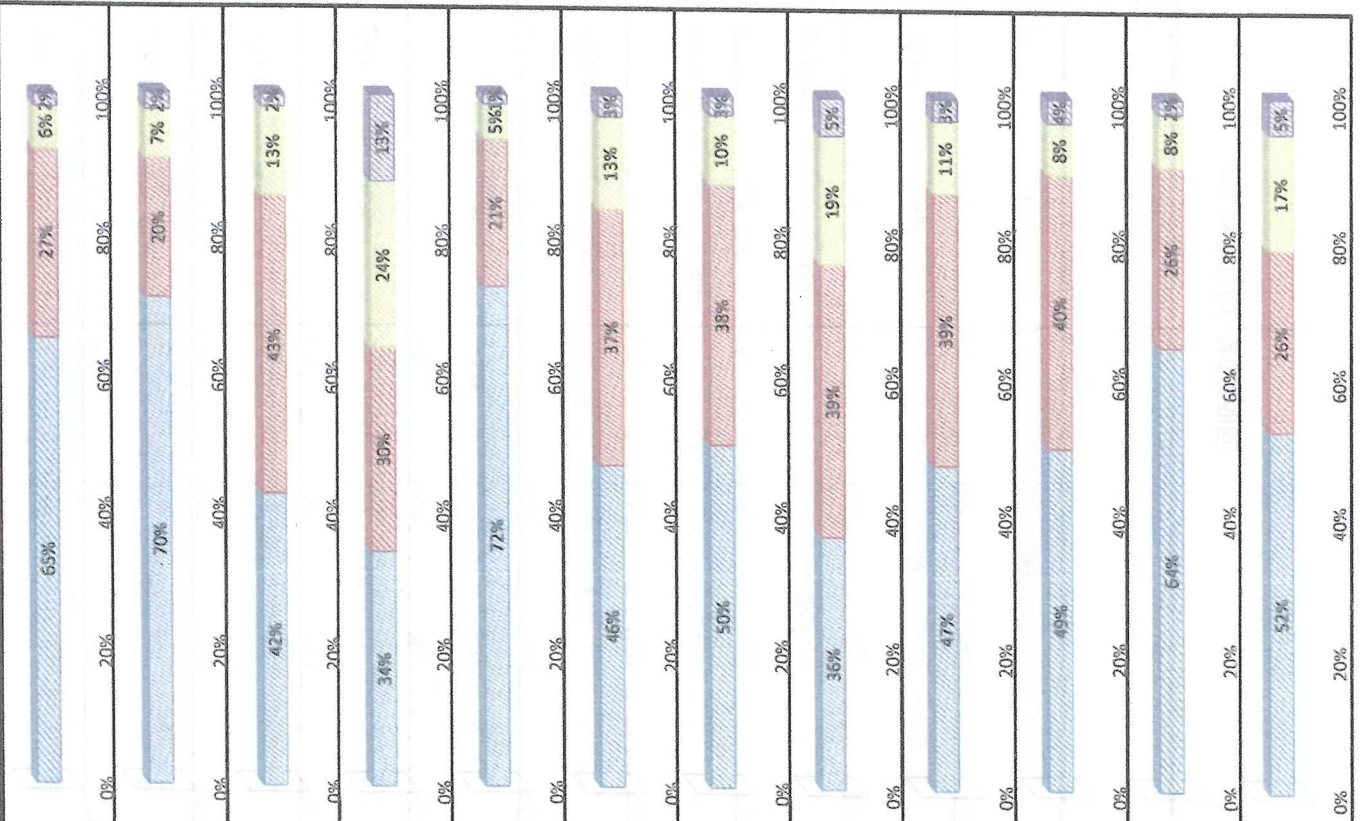
- オリンピックやパラリンピックのゲストティーチャーによる授業や体験活動を充実させており、校内にはその成果を掲示している内容から、積極的に取り組んでいることがわかる。また、文京区が提携している国々の理解を深める学習も着実に進めている。

# 児童による項目ごとの評価結果

実施：1～6年 570名

- ① 毎時間の学習のめあてが分かる。
- ② 授業でハンドサインを使っている。
- ③ 話す方の人を見て、最後まで静かに話を聞いている。
- ④ 「本郷小の150冊」を読み終えるよう、いっしょけんめい読書に取り組んでいる。
- ⑤ 朝、学校に着いたときに校門で立ち止まり、先生や当番の人、主事さんにあいさつできている。
- ⑥ 校内ですれ違う人と、挨拶やおじぎをしている。
- ⑦ 登校時刻や授業の始まりの時刻を守っている。
- ⑧ 「今週の目標」について、すすんで取り組んでいる。
- ⑨ 友達に対する言葉遣いについて、気を付けている。
- ⑩ だれにでも優しい気持ちで接している。
- ⑪ 係活動や当番活動、委員会活動に、一生懸命取り組んでいる。
- ⑫ 休み時間は、校庭や体育館などで体を動かして遊んでいる。

| そう思う | やや<br>そう思う | あまり<br>思わない | 思わない |
|------|------------|-------------|------|
| 65%  | 27%        | 6%          | 2%   |
| 70%  | 20%        | 7%          | 2%   |
| 42%  | 43%        | 13%         | 2%   |
| 34%  | 30%        | 24%         | 13%  |
| 72%  | 21%        | 5%          | 1%   |
| 46%  | 37%        | 13%         | 3%   |
| 50%  | 38%        | 10%         | 3%   |
| 36%  | 39%        | 19%         | 5%   |
| 47%  | 39%        | 11%         | 3%   |
| 49%  | 40%        | 8%          | 4%   |
| 64%  | 26%        | 8%          | 2%   |
| 52%  | 26%        | 17%         | 5%   |



# 保護者による項目ごとの評価結果

回収379名 回収率80.3%

|         |         |            |         |       |
|---------|---------|------------|---------|-------|
| A       | B       | C          | D       | E     |
| よくあてはまる | ややあてはまる | あまりあてはまらない | あてはまらない | わからない |

## (1) 区共通の評価項目について

| 項目  | A   | B   | C  | D  | E   |
|---|-----|-----|----|----|-----|
| ① 本校の教育活動に満足している。                         | 59% | 36% | 2% | 2% | 1%  |
| ② 本校の児童は、学校が楽しいと感じている。                    | 59% | 33% | 4% | 1% | 2%  |
| ③ 本校では、一人一人が大切にされ、子供の人權に配慮した教育が行われている。    | 49% | 40% | 5% | 1% | 4%  |
| ④ 本校は、特色ある学校づくりに積極的に取り組んでいる。              | 46% | 41% | 8% | 1% | 3%  |
| ⑤ 本校の授業は、児童にとって分かりやすい内容である。               | 52% | 38% | 4% | 1% | 4%  |
| ⑥ 本校は、学校生活で起きた問題(いじめ等)に対して、素早く適切に対応している。  | 40% | 32% | 5% | 1% | 22% |
| ⑦ 本校では、児童の安全管理や事故防止に努めている。                | 61% | 35% | 2% | 0% | 1%  |
| ⑧ 本校は、保護者や地域に対し、積極的に情報を発信している。            | 67% | 27% | 3% | 1% | 2%  |
| ⑨ 本校は、保護者の意見・要望を受け止めながら、協力して教育を進めようとしている。 | 58% | 33% | 4% | 1% | 4%  |
| ⑩ 来校時や電話での本校の教職員の接渉や対応は、丁寧で適切である。         | 76% | 22% | 1% | 0% | 1%  |

(2) 学校独自の評価項目について

|   |     |     |    |    |    |  |
|---|-----|-----|----|----|----|--|
| ① 学校は、本郷学習スタンダードに沿って、学習規律の整った授業を行っている。      | 56% | 32% | 4% | 0% | 8% |  |
| ② 学校は、ペアやグループでの話し合いを取り入れて、互いが学び合う授業を行っている。  | 56% | 32% | 3% | 1% | 7% |  |
| ③ 学校は、電子黒板などのICTを効果的に活用した授業を行っている。          | 62% | 26% | 4% | 1% | 8% |  |
| ④ 学校は、体育の授業を充実させ、体を動かす遊びを推進し、児童の体力向上に努めている。 | 52% | 35% | 8% | 1% | 4% |  |
| ⑤ 学校は、学校給食の充実など、食育に関する取組を適切に行っている。          | 70% | 25% | 3% | 0% | 1% |  |
| ⑥ 学校は、挨拶に関する指導を継続的に行っている。                   | 63% | 32% | 3% | 0% | 2% |  |
| ⑦ 学校は、体験活動や校外学習を充実させている。                    | 63% | 31% | 4% | 0% | 1% |  |
| ⑧ 学校は、オリンピック・パラリンピック選手を招いた授業を計画的に行っている。     | 82% | 16% | 1% | 0% | 2% |  |
| ⑨ 学校は、施設や設備を整え、清潔な環境作りに努めている。               | 74% | 23% | 3% | 0% | 1% |  |
| ⑩ 学校は、保護者や地域の方々と連携して、教育活動の充実に努めている。         | 69% | 28% | 1% | 1% | 2% |  |

☆A・B・C・Dの4段階に回答した総数に対して、A・B2段階合計数の割合は、全項目で90%以上となりました。(A+B)/(A+B+C+D)

☆ただし、「Eわからない」を含めると、次のような結果となりました。

-「(1)⑥ 本校は、学校生活で起きた問題(いじめ等)に対して、素早く適切に対応している。」72%

## 保護者による評価の自由記述から

### 1 区共通の評価項目

- 子供が毎日楽しく学校生活を送っているので安心している。
- 各種行事や特色ある校外活動などを実施し、教員も児童もその活動に対して一生懸命に取り組む姿勢が感じられる。
- いろいろな行事があつてとても良い経験になっている。今後も規律だけでなく、子供たちの自由で豊かな発想を伸ばすような教育をいていただきたい。

楽しく安全で安心な学校づくりのために、今後も子供一人一人を大切にした指導を心がけていきます。全教職員が一体となって、組織的に子供たちの状況を注意深く見守っていくよう一層努力していきます。

- 本郷小の教育活動は素晴らしいと思っているが、学校行事が多く朝会や集会を含めて学校行事の精選が必要ではないでしょうか。

子供たちに達成感を味わわせ自己肯定感を育むことができる学校行事については、今年度通り実施いたしますが、体育朝会や児童集会、音楽朝会などは精選し、子供たちが計画的に見通しをもって取り組めるようにいたします。

- 登下校を含め、子供たちが安全に過ごせるように職員、地域の皆様が見守ってくださることは大変ありがたい。
- 引き続きセキュリティの教化（校内の安全など）についての取組をお願いします。
- 積極的な情報発信は、今後も継続していただきたい。

今年度より、危機管理の徹底を図るために、玄関電子錠による施錠の徹底を図ってまいりました。来校時などの対応について、引き続き御理解・御協力いただきますようお願いいたします。学校ホームページやツイッター、情報配信メール、学校・学年便りなどとおして、引き続き教育活動や児童の様子が伝わるよう（天候による対応や疾病の状況なども含め）積極的な情報提供に努めてまいります。

なお、現在施行している免震ゴム交換工事は、安全に施工されるよう十分に留意してまいります。

## 2 学校独自項目について

- 児童の話し合いの様子や発表での話し方に感心し、コミュニケーションを通して理解を深める学習をしていることがよく分かる。
- 一人一人の学習状況や生活の様子など、子供のことを理解した上で適切な指導をしている。
- 本郷学習スタンダードは、もう少し柔軟でもよいのではと感じる部分がある。
- 小学校で学ぶべき内容は、しっかりと押さえてほしい。
- 理解を深める電子コンテンツなど、ICTをもっと活用してもよいと思う。

今年度より始めた「本郷学習スタンダード」は、学習活動を行う上での必要最低なものに精選・限定して設定しております。今後、児童の実態や実施状況を踏まえ、必要に応じて見直しを図ってまいります。なお、本郷学習スタンダードにある授業の開始と終了の時刻を順守し、授業時間を常に安定して確保します。

次年度も「主体的対話的な深い学び」について、特に「深い学び」を実現する授業改善に努めます。その中で、新学習指導要領を踏まえ、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら「深い学び」の実現を図ります。

電子黒板や書画カメラ、デジタル教科書などICT機器やソフトの効果的な活用について、教員間の情報交換を密にして、積極的な活用にも努めてまいります。

- 朝遊びの時間は、思い切り体を動かせる貴重な時間になっている。
- 積極的に体力をつける施策をされていることに好感がもてる。校庭開放の時間、日数を増やしてほしい。

体力向上については、今年度から学校支援地域本部のボランティアスタッフの皆様のご協力のもとに実施している朝遊びは、次年度も継続いたします。また、学校運営協議会において承認を得た全児童向け放課後事業を、2学期以降から実施予定です。

体力テストなどの結果を分析して、他の項目と比べ平均値に課題が見受けられるものは、今後も体育授業、体育朝会、一校一取組で工夫していきます。

- 学校の一日は、朝の元気な挨拶から始まり、規則に則った社会生活を学ぶことができている
- 本郷小の児童は明るく気持ちの良い挨拶や姿勢が見られ感心している。今後も気持ちの良い人間づくりに期待している。
- 学校外で、学年以外にいじめや不登校の話聞くことがある。児童数が増えたこともあるが、子供たちの様子に配慮してくださいますようお願いいたします。

児童の挨拶に関する指導は、今後も継続して指導していきます。そのために教師が率先して挨拶を行い、良き範となります。また、徳育として、形式的ではなく心のこもった挨拶指導に取り組み、豊かな心の育成に取り組みでまいります。

本郷小「いじめ防止基本方針」に基づき組織的に取り組み、教員も子供もいじめへのアンテナを高くし、次年度も全児童がいじめについて考える「行動宣言」「いじめ防止標語」を実施いたします。

児童と学級について客観的な実態把握のために、次年度は心理検査Q-Uを実施します。児童個々の意欲や満足度、学校集団の状態を把握することで、よりよい学級集団づくりやいじめ防止に努めてまいります。また、今年度同様、スクールカウンセラーによる全員面談を、4～6年生を対象に実施いたします。さらに、児童自身がいじめを意識して生活できるよう、いじめ行動宣言や振り返りを継続して行います。

- 子供たちにいろいろな体験の機会をつくっていると思う。
- オリンピック・パラリンピック教育でアスリートの方々との交流が多くなった。国際交流や日本文化を学ぶなども大切にしていってほしい。

オリンピック・パラリンピック教育として、アスリートの招聘や世界ともだちプロジェクト（9カ国の調べや直接交流）に取り組んでまいります。今年度同様、和太鼓や邦楽体験、邦楽鑑賞、華道、空手、書道、昔遊びなど、日本の伝統文化を体験する取組や留学生などの在日外国人との交流活動も実施してまいります。

